

特殊低床式トレーラー

Introduction of Special Semi-Trailer

川田工業㈱・栃木工場

3. 従来のトレーラーと特殊トレーラーの比較

表-1 トレーラーの比較

性能	種別	従来型トレーラー	特殊型トレーラー
荷の高さ(最大)		3.65 m	4.0 m
溝落長さ(最大)		6.0 m	11.5 m
回 転 半 径		7.5 m	6.5 m
有 効 幅		3.5 m	3.5 m

1. まえがき

近年、構造物の大型化や搬入路の制約によって、従来の低床式トレーラーでは輸送ができない、といった事態がしばしば起きている。このような場合には、客先や設計者と協議、検討を重ね、現場継手を設け、部材を小さく細切りに製作して輸送しているのが現状である。ここで紹介する特殊低床式トレーラーは、こういった問題に対処し、輸送可能範囲を大きく広げることができる。

2. 特殊低床式トレーラーの構造概略

特殊低床式トレーラーの構造概略を図-1に示す。

概略図の①部分は、荷台が積載時に油圧で上下することにより、走行時の路面状況および頭上障害物を避けて通ることができる。

概略図の②部分は、荷の形状に合わせ伸縮が可能である。

概略図の③部分は、後輪部がリモコンで操作され、タイヤの角度を変えることにより回転半径が小さくなり、狭い場所への進入が可能である。

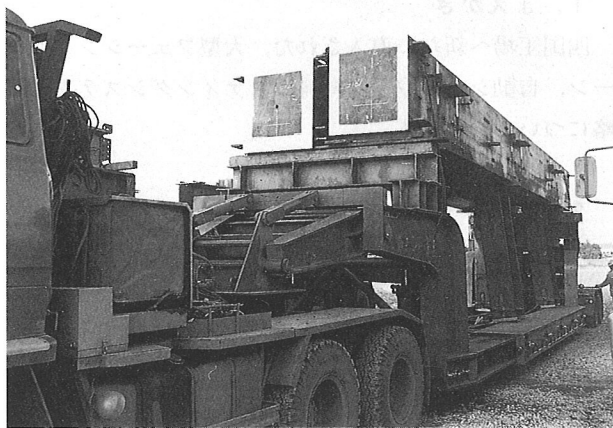


写真-1 特殊低床式トレーラー

4. あとがき

当工場では、三井倉庫箱崎ビルのボックス柱(幅3.95 m)や仙台定禅寺ビルの間柱付梁(高さ3.9 m)を輸送し、現場溶接継手などを減少させた実績がある。今後、さらに大型構造化される中で、この特殊トレーラーの活躍が期待される。

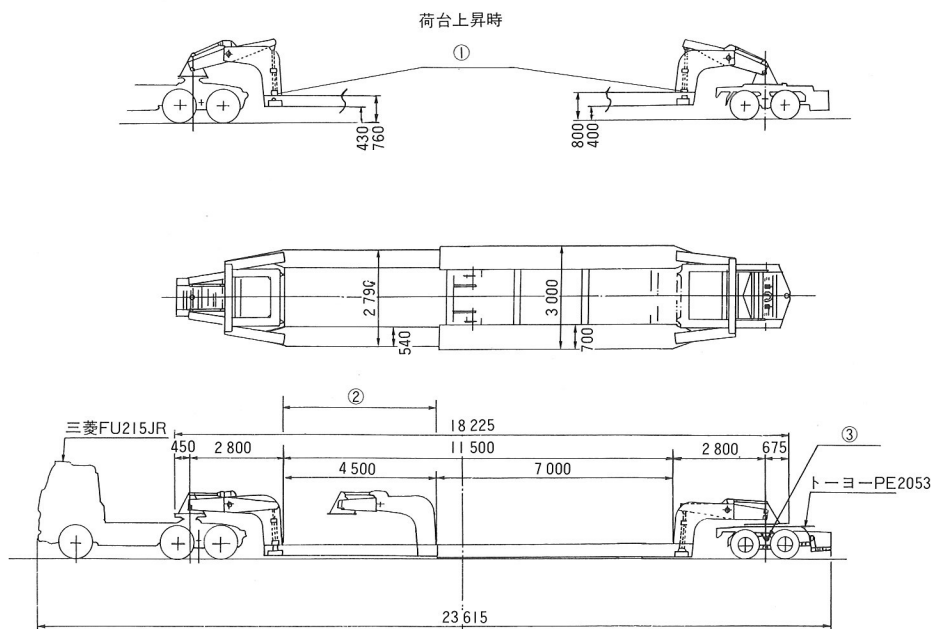


図-1 特殊低床式トレーラー概略図

(文責・石井東一郎)